



大分中村病院 理事長

中村 太郎氏

機能的な都市型病院の着工へ

今春、構想を温めてきた新病院がいよいよ着工を迎える。現在地から1^{キロ}ほど離れた大分川沿いの用地は、所有する三井不動産が「地域社会に貢献できるものを」と大分中村病院に託した。最終的に中心部での建て替えを決めたのは「私自身、50年以上大手町に住んでいる。この地でやっていきたいという思いが強かった」と明かす。

「これからの社会を見据え、機能を明

確にした都市型病院としての役割を果たす」。柔らかな表情の中に覚悟がのぞく。

新病院は二次救急とりハビリテーションを2本柱に据え、地域包括ケアシステムのハブを担うことを基本のコンセプトとした。2年ほどの時間をかけて病院の主要メンバーが毎週議論を交わし、新病院のコンセプトをつくりあげていったという。「病院の創立から時代が移り、患者さんも様変わりしている。医療も機能

分担をしながら互いに協調する時代。地域との連携をいっそう深めていきたい」と意欲を語る。新たな病棟ではスタッフの連携も取りやすいよう、多職種が共に仕事をできる環境にする予定。「職員がよいパフォーマンスを発揮できるようにしたい」と期待する。

昨年3月に新病院の建設計画を発表。新型コロナウイルス感染症が拡大した時期と重なり、感染症対策も行いながら新病院建設の準備を進めてきた。「とにかく院内感染を起こさないよう、スタッフ全員が緊張感を持って業務に当たってい

る」と話す。県内の感染状況は予断を許さないが、大分中村病院では発熱症状がある患者については院外に設置された部屋で患者対応を行っており、院内感染防止に取り組んでいる。

アスリート・メディカル・スーパーバイザー（医療統括責任者）として参加する予定だったパラリンピックは、開催を目指して準備が続いている。「パラリンピックに人生を懸けてきたアスリートを何人も知っている。何とか実現できた」と願う。さまざまな場面で、医療による社会貢献を追求する。



新病院外観(完成予想イメージ図)

病院DATA

●診療科目

整形外科・脊椎外科・外科・腫瘍外科・脳神経外科・内科
循環器内科・消化器内科・腎臓内科・糖尿病内科・呼吸器内科
緩和ケア内科・形成外科・泌尿器科・リハビリテーション科
肛門外科・リウマチ科・心臓血管外科・産婦人科・眼科
放射線科・皮膚科・臨床検査科・麻酔科(永澤一郎)

●診療受付時間

平日/8:30~11:30、13:00~17:00 土曜/8:30~11:30

●休診日

日曜・休日・年末年始 ※救急患者は24時間365日対応



社会医療法人 恵愛会

大分中村病院

大分市大手町3-2-43

TEL097-536-5050

<http://www.nakamura-hosp.or.jp>

